



被服デザイン科3年生と「ぞう組」の子どもたち



美深高等養護被服デザイン科

「おままごとセット」など

幼児センに手作りおもちゃ寄贈

【美深】美深高等養護学校(大泉真哉校長)の被服デザイン科3年生6人が、21日午前10時に美深町幼児センター(井川健セン

ター)を訪れ、手作

るもので、生徒たちは1月から実習で布製のおもちゃを手作り。春休み期間中に各家庭で製作作業に励んだ生徒もおり、このほど完成した。

寄贈したのは「おままごとセット」が6セットで、オムライスやハンバーグ、サンドイッチ、フライドポテト、焼き肉、クッキーのセット。

さらにフェルト製のサッカーボール、キルトのブロッククッションもあり、「おままごとセット」で遊ぶ

んだ。寄贈を受けた「おままごとセット」で遊ぶ

とセット」の細かなパーツを合わせる148個を製作した。生徒たちが同センターを訪れ、5歳児「ぞう組」の子どもたちに手作りのおもちゃを手渡した。

子どもたちは寄贈を受けたおもちゃで早速遊んで、笑顔を見せるとともに「ありがとうございます」と礼を述べた。生徒たちは「皆さんで楽しく譲り合って遊んでください」と呼びかけていた。(中村)